

【カリキュラムづくりに
おけるポイント】

○「園小接続期に育てたい3つの力」のねらいに迫るため、子どもの実態に合わせた教育内容を設定した。

○「3つの力」について、アプローチカリキュラムとスタートカリキュラムを作成することで、誰でも同じ指導ができるようにした。

具体的な指導

【こども園内・小学校
内の取組】

○園内に交流写真や手紙等を掲示する。



○交流会を該当学年以外の教員が参観し、取組を広げる。

園小接続の
理解が深まる

【取組のポイント】

○交流会ごとに、ねらいや子どもに付けさせたい力を教員が把握して取り組んだ。

ねらいの共有

【これまでのカリキュラムとの違い】
保育内容と、小学校の教科・その他の教育活動を整つ力の設定して、具体的な教育内容を編成した。
系統立てたカリキュラム

吉野町園小接続期カリキュラム(概要)

アプローチカリキュラム 5歳児 9月～3月

スタートカリキュラム 1年生 4月～6月



めざす子ども像

- 学校生活の見通しをもてる子
- 時間を意識して行動できる子
- 自分のことを自分でする子
- 友達や自分の良さに気付く子
- 自分の思いを言える子
- 相手の思いを受け止められる子
- やりたいことを見付けられる子
- 進んで学ぼうとする子
- 話をじっくり聞ける子
- 失敗を恐れず精一杯最後までがんばる子

【教職員同士の連携】

○参観で互いの教育・保育を知る。
○子どもの実態・育ちに
応じた指導をする。



○交流活動の打合せなど、
気軽に連絡を取り合う。

教育・保育の充実

【保護者との連携】

○こども園の保護者にも
学校公開・運動会・夏休
みの作品展等の案内を
する。

○小学校に来てもらえる
機会を増やす。

○学級便りを連携の手立
てとする。

○日頃から連絡帳・電話
・家庭訪問等、保護者と
関わる機会をつくる。

保護者も安心

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7・8月
園小連携・交流	子ども 運動会 幼児種目参加 (5年生と)	園小交流会 (年長児と5年生)	園小交流会 (年長児と1年生)	長距離走大会 (全園児参加)	訪問授業 (年長児対象)	1日体験 (入学予定)	入学 児童)	園小交流会 (年長児と1年生)	町内園小交流会 (町内の年長児・1年生)	○交流会の打ち合 わせ・反省を随時 行う。	
教職員		連絡会議 (次年度入学児童について)	訪問観察				→連絡会議 (次年度に向けて)	連絡会議 (交流会日程調整)	学習参観・連絡会議 (入学児童について)	連絡会議 (交流会の反省など)	教職員研修
家庭との連携		※小学校との交流の様子を 保護者に伝える。(通信・写真の掲示)			入学説 (こども園)	明会 教職員も参加)	家庭訪問	※入学後学級通信等で 保護者に様子を伝える。			

【園小接続を通して、子どもが変わる】

◎こども園では・小学生に優しくしてもらったことから、こども園で年下の友達に優しく接する姿が見られた。入学までに、施設や小学校(着替え・トイレの使い方)を知り、体験したことが安心感につながり、入学を楽しみにするようになった。
◎小学校では・入学時、施設や先生に親しみをもって関わる児童が増え、活動をイラストで示すなどこども園の環境を取り入れることに学校生活をスタートすることができた。また交流のつながりから、縦割り活動にも不安なく参加できた。交流会が児童の学習発表の場になっており、見通しや相手意識をもって主体的に取り組むようになった。

【園小接続を通して、教職員が変わる】

◎こども園では・小学校教員と気軽に連絡を取り合い、個々の子どもに応じた対応や教育・保育内容について共通理解を深めることができた。また、アプローチカリキュラムを作成したことで、就学までに育てたい姿が具体化し、どの教員も同じめあてをもって指導できるようになった。
◎小学校では・交流を重ねることで、園小連携の重要性を意識するようになった。また、こども園の教育内容を知ることによって、子どもの力を生かした教育活動を進めるようになった。

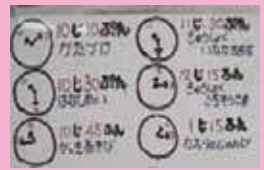
【今週のねらい】

4月第1週目

小学校生活に必要なことを少しずつ覚えながら、不安がなくなり楽しく過ごすことができる。

自分たちで生活を進めている環境づくり

- * 基本的生活習慣の確立
- * 時間を意識できる環境



- * 小学校の活動方法に慣れる。
- 立ったまま着替える。
- 体操服のポケットに、ハンカチを入れる。
- * 小学校生活への期待
- 体験入学

生活する力		
楽しく生活する	実施時期	10月
練習を通して、友達同士競い合ったり認め合ったりして、意欲的に活動に取り又、どんな事をして遊ぶのかを相談したり必要な用具を協力して準備したり一緒に遊びを進めていこうとする姿が見られる。		
に見通しをもち、自分たちで遊びや活動に取り組む楽しさや充実感を味わう。		
校へ運動会の練習に訪れた時、チャイムの音を聞いて「この音は何?」と尋ね、⑧「チャイムやで」と答える。⑨「そうやね。小学校はチャイムがなつてはどんな事をするのかを知らせてくれるんやよ」⑩「勉強の時間と休みが、わかるようになるね。お姉ちゃんが言ってる」⑪「こども園は、次は何の先生が教えてくれるな」⑫「でも、僕は時計も見てるで。先生が、長は2になったら片づけましようって言うやろ。2はまだかなって時計を見る」⑬「僕は、2とかの字はまだわかりにくわ」		
保育室の時計の下に、画用紙で作った時計をはって置く。		
この新しい時計は、チャイムです」⑭「チャイム?小学校みだいや」これからは、この時計を使って、片付けの時間を知らせるね。今日の片付け		

安心できる環境づくり

- * 持ち物の収納場所
- イラストで知らせる。
- * 明るい環境 (こども園を参考)



絵や図を用意!!

- * 用意の仕方 * 話の聞き方
- * 1日の流れ など

児童が1日の見通しをもてるように



今まで経験してきたことや身に付けてきたことを生かすように意識する。

「こうしましょう。」



○「こういうときは どうしたらいいかな?」

- * 連絡帳・学級便り (日々の子どもたちの様子・毎日の予定・持ち物等の連絡) などで家庭との連携を図る。
- * 低学年下校の確認をしておく。

人と関わる力		
活動内容	実施時期	10月下旬
『ボーリング遊びをしよう!』異年齢児を招待して、小学生のおおきさんお姉さん『ボーリング遊び』を経験させてもらったことが楽しかったのか、自分達も園でやりたいという思いから『ボーリング遊び』が始まった。自由遊戯日に、0〜2歳の児童を招待することが決まり、クラス全員で力を合わせて『ボーリング遊び』をすることに決めた。		
・異年齢児と一緒に、『ボーリング遊び』を楽しむ。		
・友達と共通の目的をもって、考えやイメージを出し合ったり取り組もうとする。		
〈ボーリング遊びをしよう〉 ○クラスで話し合う場を多く設け、みんなでルールや各担当の仕事内容を確認し、友達のことを思いやり、自分の意見を出し合ったりする機会を多く取り入れる。		
◎自由遊戯の日に、0・1・2歳の友達が年長クラスへ来て一緒に遊ぶことになった。遊びの場をどのように作るのか、どんなルールにするか、どう振舞えばよいかなど、友達と一緒に考え意見を出し合っていた。		



友達や小学生、地域の人々等と関わりが深まる場の設定

- * 異年齢児との関わり * 地域の人々との関わり
- * 小学生との関わり → 交流会
- * ルールのある遊び
- 自分たちで考える時間の確保



自ら考え行動し、伝え合おうとする環境づくり

- * 自然体験 * 表現活動
- * 文字や数への興味
- * 小学校生活への期待
- 小学校教員による訪問授業



学ぶ力		
ついたら、プレゼントがもらえますよ	実施時期	10月
物や木片を使って、どんぐり転がしゲームとアクセサリづくりが始まる。自分たち年下の友達にも遊んで欲しいと思い、文字を使っての看板や招待状を作ったりどんぐりのようにゲームの板の角度を変えたりして、年下の友達が楽しく遊べるように、工夫しながら遊ぶ姿が見られる。		
に協力したり工夫したりして、遊ぶ楽しさを味わう。		
文字などに関心をもち、遊びの中に取り入れようとする。		
イメージに合わせ、素材や用具を準備しておく。		
ゴールしたら、アクセサリ屋さんでプレゼントをすることになる。		
る友達が多く、プレゼント用のアクセサリ作りがいつかなく		
が相談している姿を見守ると共に、どうすればアクセサリがすくなくならないかと一緒に考える。		
ゴールだけでプレゼントするから、すくなくならない」「5回くらいゴールしないといって事にしよう」「それはいいね」と子どもたちが意見を話し合う。		

	※ 声かけ・質問・留意点 等 ※		
	生活する力	人と関わる力	学ぶ力
1日目 (入学式) 入学式に参加 ○あいさつや返事 学級指導 ○担任の名前 ○教室の場所 ○入学式の練習 ○自分の席	○靴箱・ロッカー・机などに、名前を貼っておく。 ○教室やトイレの場所などを知らせる。 → トイレに行くときは、教員や6年生が付き添う。	○担任の名前を知らせる。 → 児童が安心できるように声をかける。 ○困ったことがあれば、教員や6年生に話すことを伝える。 ○あいさつや返事について 「名前を呼ばれたら?」「おめでとう、言われたら?」	「分からないことや、困ったことがあれば、近くの先生や6年生に言いましょうね。」
家庭との連携→保護者に協力をお願いする。			
2日目 (3時間) 学級活動 (2時間) ○朝・帰りの用意の仕方 ○トイレの使い方 ○あいさつ ○話の聞き方 ○靴箱・ロッカーの使い方 ○並び方 (出席番号) 分団会 (1時間) ○登下校の仕方	○和式トイレに慣れていない児童が多いので、使い方を確認する。 「トイレの後は、何をできるかな。」 → 手洗い・ハンカチの使い方を一緒に確認する。 ○学校生活について → *チャイム * 休み時間 * 持ち物の整理整頓	○保育所・幼稚園などから入学してきた児童を把握しておく。 ○配布物を受け渡しの仕方 「どのように渡したら、受け取りやすいかな。」 ○話の聞き方 「先生や友達の話聞くときは、どんなことに気を付けたいかな。」	○学習上の基本的な習慣 → *話の聞き方 * 発表の仕方 * 挙手の仕方 * 鉛筆の持ち方 * 書くときの姿勢 など ○授業の始まりと終わりの号令の合図 → 「起立」「気を付け」「礼」「お願いします」「ありがとうございました」「着席」
3日目 (4時間) 学級活動 (2時間) ○よろしくね ○チャイムの合図 ○楽しい給食 国語・算数 (1時間) ○はじめての名前 ○簡単なゲーム 図工 (1時間) ○好きなものなあに 休み時間 ○トイレ ○遊び (教室内)	○給食について → 準備の仕方 給食時間の過ごし方 → 栄養教諭・担任 「苦手なものは最初に減らしましょう。少しずつ食べられるようになるうね。」 ○30分おきにトイレに行くよう声をかけ、はじめに失敗がないよう十分注意する。	○よろしくね (自己紹介)では、誕生日や好きなものなど話しやすい内容を指示する。一つの円になるなど、話しやすい雰囲気をつくる。(図工で好きなものを描いて、それを活用する。) ○休み時間には、お絵かき・算数セット・読書・工作など好きなことをして良いと伝える。 → 友達に声をかけにくい児童を把握しておく。	○1日の流れを掲示し、安心して学習に取り組めるようにする。 ○教科書の確認をする。 → 教科書・筆箱・下敷きの置き場所を一つずつ確認する。 ○ゲームのルールなどが分かりやすいように、黒板にイラストを交えて示しておく。

☆主な行事…入学式・分団会

入学式の練習

- * 返事
- * お礼
- * 起立・礼・着席
- * 並び方
- * いすの場所
- 式の流れが分かるように!

朝の用意・給食の準備など、慣れるまで上級生にサポートしてもらおう!!

→ 「手伝ってくれてありがとう。」と伝えている児童がいたら褒め、学級の児童にも紹介する。

モジュール学習を取り入れ、子どもの実態に合わせて徐々に45分の授業に慣れさせる。(最初は15分~20分)

ほっとできる場所・時間

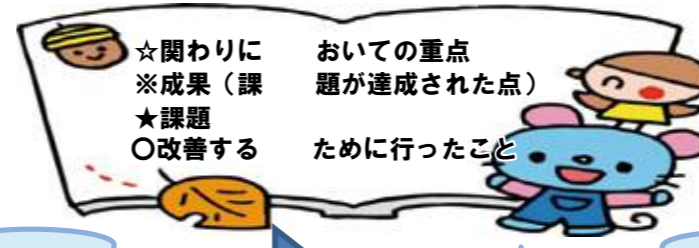
こうさくコーナー



☆手遊び・読み聞かせ・簡単なゲーム等をする時間を設ける。

「つながる のびる 共に育ちあう子どもをめざして」
大和高田市

大和高田市立陵西小学校 大和高田市立陵西幼稚園



	1学期	2学期	3学期
保育所と	<p>1 出会う</p> <p>5月 保育所の友達と園庭で遊ぶ ☆ペアで遊び、名前を覚える。</p> <p>せーの！でジャンプ！！</p> <p>※名前を呼び合う姿があった。 ★顔と名前が一致しない。 ○幼児の名前と顔写真を交換した。</p>	<p>7月</p> <p>10月 保育所にて運動遊び・遊具で遊ぶ ☆チームで力を合わせ、心を通わす。</p> <p>負けそう・・・</p> <p>※勝った時、負けた時の気持ちを共有できた。 ★小学校生活につながる体験をしていない。 ○小学校で一緒に活動をする計画を立てる。</p>	<p>9月</p> <p>1月 小学校にて陵西体操をする ☆体育館にて保育所、5年生、幼稚園の子どもたちが小学校で行っている体操を体験する。人数の多さに圧倒されることが予想されるため、安心できる環境づくりに努める。</p> <p>2月 『もうすぐ一緒に1年生』をする</p>
1年生と	<p>6月 1年生と泥遊び・遊具で遊ぶ ☆遊びを通して自然に関わりをもつ。</p> <p>めっちゃ溜まってきた。 深く掘ろう！</p> <p>※ダイナミックに遊ぶ姿から刺激を受けた。 ★夢中になって楽しんでしたが、個々からの広がりには欠けていた。 ○次回は共に活動をする内容で関わりたい。</p>	<p>5月</p> <p>11月 1年生とリースづくり ☆互いが持っている木の実を交換することで、声を掛け合いながら作る楽しさを感じる。</p> <p>いいよ かえっこしよう</p> <p>※持っている物をきっかけに話が弾んだ。 ★関わりを重視する事前準備が十分でない。 ○1年生が知らせながら関わられる時間の共有。</p>	<p>12月</p> <p>1月 困り感が予想される時間の体験をする</p> <ul style="list-style-type: none"> 朝遊びの時間（登校してからの活動、朝の会の時間までの過ごし方） 休み時間（次の授業の準備をする、トイレに行く等） 業間時間（運動場へ行って遊ぶ、教室で遊ぶ等） 給食時間（準備、食べる環境、片付け方等）
5年生と	<p>7月 5年生と玉ねぎの皮で染め物 ☆1つのボールを囲んで声をかけてもらいながら、背の高いお兄さん、お姉さんに慣れる。</p> <p>入れていいの？ 全部つけてね</p> <p>※心穏やかに関わりを十分楽しんでいた。 ★幼児の主体的な活動にはなりにくかった。 ○自ら動く活動で会話しながら関わりを楽しむようにする。</p>	<p>7月</p> <p>9月 5年生と染めた布にスタンプ遊び ☆互いに押ししたいものを伝えながら活動する。</p> <p>ここがいい！ どこがいい？</p> <p>※子どもたちの主体的な活動になっていた。 ★幼稚園の子に丁寧に関わり、5年生のスタンプを押す時間の確保が難しかった。 ○お互いが十分に楽しめる活動にしたい。</p>	<p>12月</p> <p>1月 小学校にて陵西体操をする ☆5年生のお兄さん、お姉さんが見本となっていきいきと活動する姿を見て、憧れの気持ちをもったり、小学校の活動に興味を示したりする時間となるように声掛けをする。</p> <p>2月 体験入学をする</p>

興味、関心をつなげよう



「この青い卵は何だろう？」園庭に落ちていた青色の卵。何の卵かな？ 凶鑑で調べました。分からなかったため、小学校の先生に聞きに行きました。ムクドリだと知って、本物が見てみたくなりました。

「ソーラン節見たいな。」どこからか聞こえてきたソーラン節の曲。5年生がしていることを知って見に行きました。動きが大きくてすごかったです。自分たちのソーラン節もかっこよく踊りたい！意欲につながりました。

保護者へつなげよう

- 校長先生による『子育て講演会』
- 保護者の声
 - 子どもの目線で向き合い、本人の意見を尊重してつき合っていきたいと思った。
 - 子どもが選択していく道を見守る大切さを知ることができた。
- 学級通信で知らせる
 - 小学校とのつながりを知らせ、保護者の不安を軽減し、安心して入学できるように働きかけている。
- 先輩保護者の話を聞く
 - 1月の学級懇談会にて小学校の様子や、就学に向けてのアドバイス、体験談を聞く。

教職員・地域がつながろう

共通理解を深める

- 園内研究会に校長、小学校教員が参加
- 校内研究会に園長、幼稚園教員が参加
- 子どもの実態、交流前後の話し合いに参加
- 接続期カリキュラムについての研修に参加

地域へ発信

- 園外に設置されているボードにて、保育所や小学校とのつながりを知らせる。
- 学校評議員に取組を伝え、学校教育の充実を図る。

成果と課題

- ※親しみをもって気軽に話し掛ける姿や表情から、幼児の心の中に小学校の児童や先生、保育所児との存在が身近になっていると感じる。知ることが安心感につながっている。
- ※困っている幼児に、ずっと手を差し伸べてくれる児童の姿や、自ら関わろうと近寄って行く幼児の姿が見られるようになった。年度当初の課題から、視点を定めて継続して取り組む大切さを感じた。
- ※育てたい子ども像の共有化を図るために、学校と園の組織に接続を位置づける体制づくりを目指す。管理職、担当者を窓口役割をもちながら、就学前から小学校6年間の学びの姿を共通理解し、共通実践するために連携を図っていきたい。

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

幼児期の体験によって身に付けた見方、考え方が、小学校の各教科等の見方、考え方の基礎へとつながっていく。年長時の1年間の具体的な姿や育ちを小学校に伝え、円滑な接続につなげる。

PDCAサイクルの確立

幼児・児童の実態から年間計を大切に。実際の交流の場構成及び、援助にあたる。交流育的観点から迫り、反省をもと画のどこに焦点を当てるのかでは、ねらいに沿った環境の後の話し合いでは、互いの教に次回へつなぐようにする。

「保育園・幼稚園・小学校の『遊び』と『学び』をつなげよう」

生駒市

生駒市立壺分小学校 生駒市立壺分幼稚園
社会福祉法人晋栄福祉会 いちぶちどり保育園

取組の方向性 ~交流の充実とカリキュラム構築について~

- ①3校園が交流活動のねらいを出し合い、育てたい姿や子どもの学びを共通理解する。保幼小それぞれの環境の違いを理解し合いながら、教職員同士の連携を深め、お互いに実りのある交流活動を進めていく。
- ②接続期の子どもの育ちや生活上の課題について協議し、それらを踏まえて、アプローチ・スタート期の終わりに育ってほしい力を3つの視点（自主性・主体性、コミュニケーション力、からだづくり）として洗い出す。これらの視点をもとにした活動を積極的に活動の中に取り入れ、学びにつながる力の育成を図る。

背景

壺分小学校区では、公立校園での交流は行われる機会が少なかった。「幼小接続」にあたって校が共に子どもの育ちを見つめ合い、連携をこれらを踏まえ、3校園の教職員が連携し、計画するとともに、保、幼、小の接続が今後カリキュラムの編成について研究・協議して

われてきたが、地域の保育園と交流では、地域の保育園・幼稚園・小学校深めていくことが望まれる。子どもたちにとって楽しい交流活動も継続していくことができるよう、いきたいと考えた。

自主性・主体性

☆みんなで交流しよう (鬼ごっこ・校内めぐり)

○活動のねらい

幼稚園・保育園

- ・1年生に親しみを持ち、一緒に遊ぶ楽しさを感じる。
- ・校舎見学を通して小学校に関心をもつ。

小学校

- ・学校の施設に関心を持ち、幼児と一緒に楽しく遊ぼうとする。
- ・幼児のことが分かり、自分との関わりに気付く。



○活動の姿

幼稚園・保育園

- ・初めての環境でも1年生がペアを組んで一緒に過ごしてくれたことで安心感をもって活動に臨むことができた。

小学校

- ・鬼ごっこでタッチされた幼児を助けてあげたり、優しくタッチしたりするなど、幼児を気遣う姿が見られた。

◎成果

- ・初めての出会いの場を小学校で行い、遊具で遊んだり石木鬼をしたりして遊ぶことができた。1年生は自信を持ち、幼児は学校への関心を寄せながら、活動を楽しむことができた。今後のつながりをもつよい機会となった。

☆みんなで水、砂、泥遊びをしよう (泥団子・シャボン玉・色水・砂場)

○活動のねらい

幼稚園・保育園

- ・水や砂、土、泥などの感触を味わい、1年生と一緒に試したり工夫したりして遊ぶことを楽しむ。

小学校

- ・夏の遊びに関心を持ち、幼児と仲良く遊ぼうとする。



○活動の姿

幼稚園・保育園

- ・毎日の遊びの経験を生かし、自分たちで遊びを進め、自信をもって遊び方を伝える姿があった。
- ・遊びの中で様々な感触を味わい、夏ならではの遊びを楽しんでいた。

小学校

- ・ペアになった幼児とコミュニケーションをとり、遊ぶ順番や遊び方を決める姿が見られた。
- ・様々な素材に触れ、夏の遊びを楽しむ姿が見られた。

◎成果

- ・3校園で夏の遊びを開放的に遊ぶ中で、自分のやりたいことや、ペアの子がやりたいことに耳を傾けながら、一緒に活動をする楽しさを共有できた。

☆みんなで秋の自然探しをしよう (地域の公園で一緒に)

○活動のねらい

幼稚園・保育園

- ・秋の自然に関心をもつ自然物を集めて遊ぶ

小学校

- ・幼児と一緒に秋の自然探しをしようとする。

○活動の姿

幼稚園・保育園

- ・1年生と共通の目的を十分に楽しんだ。
- ・活動の振り返りでは、気持ちを伝える姿が見られた。

小学校

- ・秋の自然物を探中することを幼児に教える姿が見られた。
- ・木の実などを幼児と一緒に会話する姿が見られた。

◎成果

- ・3校園での交流に慣れながら協力して活動することができた。グループで同じ目的に向かって子どもたちが一緒に行動しようとする意識が芽生えた。



☆なかよしあきまつりをしよう ○活動のねらい

幼稚園・保育園

- ・秋の自然物を使って1年生と遊んだりお店巡りをしたりすることを楽しむ。

小学校

- ・秋の自然物を使ってみんなで遊ぶことの楽しさに気付くことができる。



○活動の姿

幼稚園・保育園

- ・1年生が考えた遊びを存分に楽しみ、繰り返し挑戦し、遊び込む姿があった。
- ・案内係の1年生を頼りに、お店屋さんを仲良く巡ることができた。

小学校

- ・幼児が楽しめるような表示やルールを工夫する姿が見られた。
- ・幼児の思いを聞いたり、おすすめのお店に案内したりして楽しませようとしていた。
- ・保幼小それぞれが用意したどんぐりゴマと一緒に遊ぶことができた。

◎成果

- ・前回の交流で集めた自然物を生かし、つながりのある活動になった。1年生は、幼児の立場になって遊びやルールを考え、幼児は交流を楽しみにどんぐりゴマを作るなど、交流当日以外にも、それぞれが一緒に創り上げていく交流活動になった。



交流活動の成果~3つの視点から~

◎幼児は季節の遊びを1年生と一緒にしたり、小学校で遊んだりすることを重ねる中で、不安なく安心や期待をもって活動できた。また1年生は生活科を通じた交流活動で、見る・触れる・作る・探す・遊ぶといった学習活動をすることで、自分で考えたり振り返ったりする主体的な姿が見られるようになった。

◎1年生と幼児のペアに最初は緊張感をもつ姿もあったが、一緒に遊ぶ交流をする中で、互いに名前を呼び合ったり、遊び方を教えたりする関わりが変わっていった。活動後の振り返りの場では、感じたことや考えた事を自分なりの言葉で伝えようとするようになった。

◎からだづくりの視点から交流内容を計画し、遊びの中で体を動かして楽しむことができた。小学校、幼稚園、地域の公園など、交流の場まで歩いて行き、一緒に遊ぶ活動を楽しむことができた。

☆次年度以降への課題
・交流当日だけではなく、3校園がそれぞれ主体的に参加できる形の活動を取り入れていくことや、子ども同士の関係づくりをさらに深められるような遊びの「しかけ」を、実践を通して取り入れていきたい。

教職員連携

☆教職員打ち合わせ

- ・保幼小接続に向けた研究視点を検討する。
- ☆年間交流計画策定
・保、幼、小の3校園での日程調整、交流内容の検討を行う。

☆交流後の振り返り・協議

- ・幼児と1年生の関わりに着目し、自然な形で一緒に遊ぶ内容を検討する。
- ☆次回交流について
・ねらいと経験させたい内容の共通理解を図る。



☆交流後の振り返り・協議

- ・遊びでの子どもの気付きや学びを見取り、意見交換をして理解を深める。
- ・子どもたち自身が活動を振り返り、自分の思いを言葉で表す場を設定する。
- ・3校園混合グループ活動を検討する。
- ・事前の下見を共に行う。

☆交流後の振り返り・協議

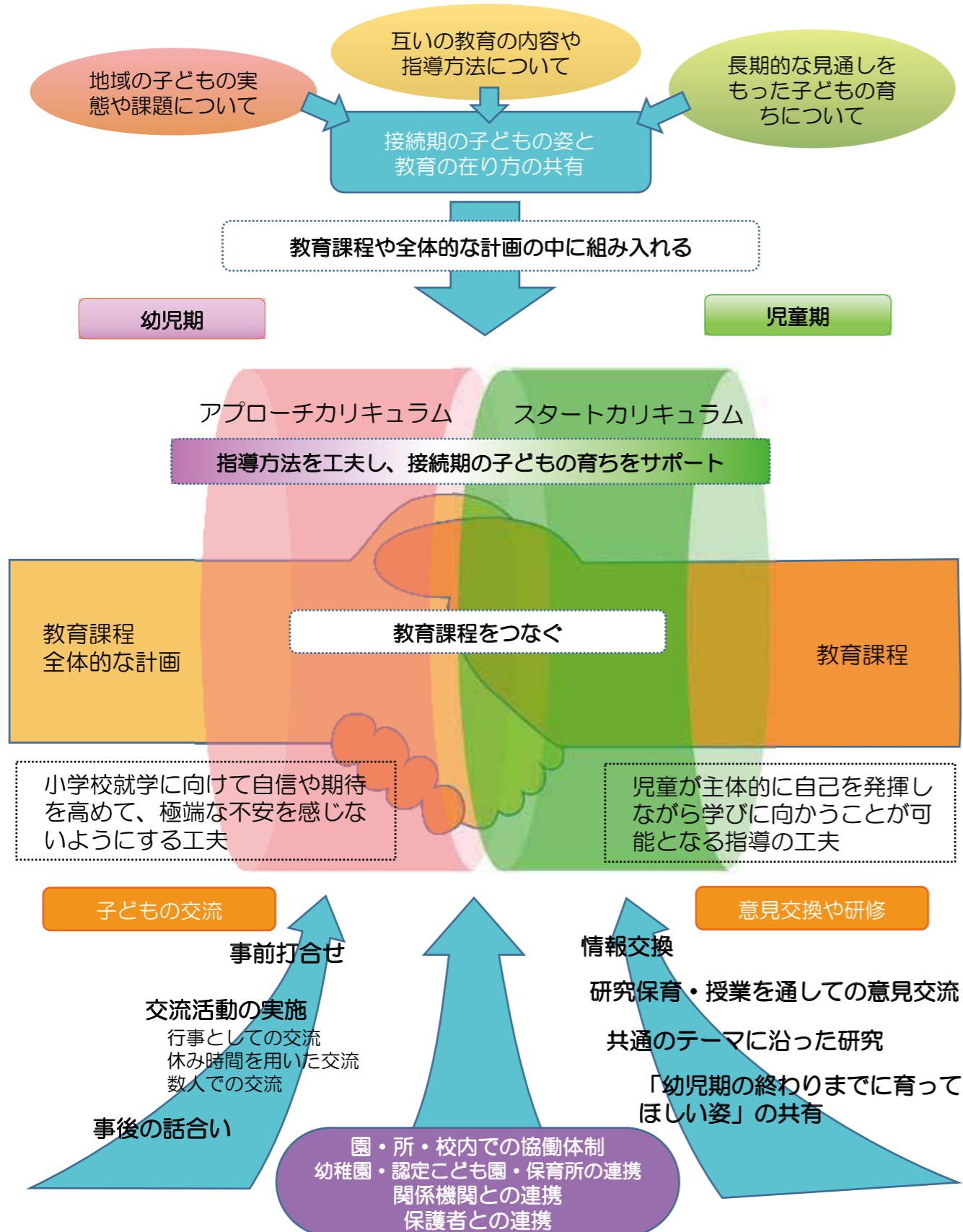
- ・自然物を生かしたつながりのある交流活動を検討する。
- ・招く/招かれるだけの交流にならないよう、保幼小それぞれの子どもたちが活動に主体的に参加できるような遊びの「しかけ」を設定する。
- ・1年生と幼児のペアのあり方について、次年度以降の交流に向けて協議する。

☆教職員連携による成果と課題

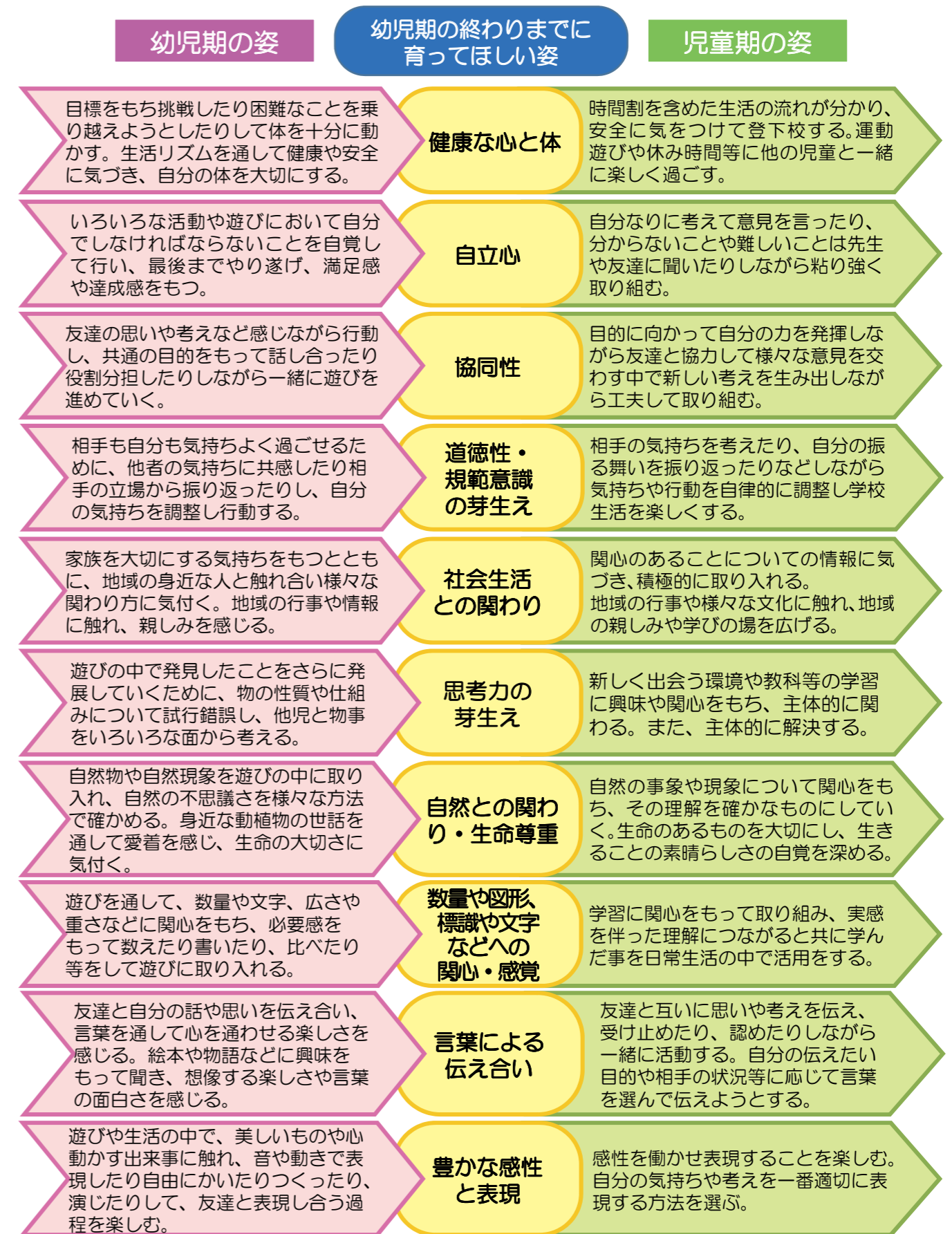
- ・子どもたち同士が主体的に活動し、互いの仲を深めてほしいという思いで保幼小の教職員が一体となってスタートした取組であった。育てたい子ども像を共に描き話し合ったことで、交流を深める「しかけ」となるアイデアが生まれた。次年度以降も継続的に取り組むことができるカリキュラムの作成を目指して、教職員同士の連携を深めていきたい。

接続期の育ちを生かした実践をカリキュラムの作成につなぐ

幼児期の教育において育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教育が円滑に行われるよう、小学校・幼稚園・保育所等の教職員での意見交換の機会などを設け、連携を図りましょう。
また、これまでから実施している交流や意見交換の場を教育課程に位置付け、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた指導を工夫しましょう。



幼児期の育ちを小学校での学びに生かすために
「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を具体化してみよう



幼稚園教育要領に記載された幼児期と児童期の具体的な「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を示しています。実際の姿について情報交換し、子どもたちの育ちを共有してみましょう。

幼児期に、自ら考えて行動し、困ったことに直面しても解決していく経験を積み重ね、できたという実感をもてるようにしましょう。幼児期に培ったこのような力は、小学校での生活に生かされていきます。

小学校に行ったらハンカチをポケットに必ず入れるんですよ

忘れ物しちゃダメ!

先回りして教えたり、指示したりするよりも…

小学校にはタオル掛けがなかったよ

手を洗った後どうするの

先生、お箸忘れちゃった

園のお箸を渡すね

きちんと伝えられたね 困っているってことが分かったよ

知ってるよ お兄ちゃんはハンカチをポケットに入れてるよ

言葉で表現したり、きまりを守ったりして、子ども自身が心地よく生活できるように、関わりを工夫しましょう。

小学校の生活リズムに慣れるためには、たくさんの「小学校のやり方」を身に付けなければなりません。「教える」ことはたくさんありますが、子どもの「過去の体験」や「気付く力」を使って、やり方を自分たちで「考えた」（と感じさせる）ことが、意欲につながります。

みんながロクに話して聞こえない

そうだね どうすればいいかな

「はい」って返事してたよ

6年生が「困ったことがあったら聞いてね」って言ってたよ

こうやって手を挙げてたよ

学校探検で見てこよう

私もやってみよう!

発表するときは、このようにしますよ

一方的に方法を提示するよりも…

就学前の経験や育ちを認め、子どもに意欲をもたせ、主体的な活動にすることが大切です。「やりたい」「やってみよう」「できた」という気持ちをもてる援助を工夫しましょう。

なるほど みんながんばってたんだね

難しいことは6年生がお手伝いしてくれますよ

来週から給食が始まります お当番もありますよ

園・所ではどうしてたかな

小学校ではこんな方法で準備します 力を合わせてできそうかな

がんばるぞ

保育園も給食だったよ

おうちでやってるからできます!

お当番のやり方知ってる!

お当番やったことないけどやってみよう

教えてあげるから一緒にやろう

平成29年度幼児教育の推進体制構築事業

【モデル地域、研究協力校・園】

市町村	研究協力校	研究協力園
大和郡山市	大和郡山市立矢田南小学校	大和郡山市立矢田南幼稚園
天理市	天理市立丹波市小学校	天理市立丹波市幼稚園
宇陀市	宇陀市立榛原東小学校	宇陀市立榛原東幼稚園
川西町	川西町立川西小学校	川西町立川西幼稚園
吉野町	吉野町立吉野小学校 吉野町立吉野北小学校	吉野町立よしのこども園 吉野町立わかばこども園
大和高田市	大和高田市立陵西小学校	大和高田市立陵西幼稚園
生駒市	生駒市立壺分小学校	生駒市立壺分幼稚園 社会福祉法人晋栄福祉会 いちぶちどり保育園

【指導助言】

兵庫教育大学 准教授 鈴木正敏

平成30年2月発行
編集・発行 奈良県就学前教育センター
〒636-0343 奈良県磯城郡田原本町秦庄22-1
TEL 0744-33-8902 FAX 0744-33-8909

